



山陰海岸ジオパーク

その4

浦富海岸を含む山陰海岸を世界ジオパークに!!

世界ジオパーク登録目指して 申請書提出

鳥取・兵庫・京都の3府県で構成する山陰海岸ジオパーク推進協議会は、6月18日、世界ジオパークネットワークへの加盟にむけた国内候補地申請書を日本ジオパーク委員会へ提出しました。今回の募集では、山陰海岸、室戸、秩父の3地域から申請があり、7月10日には、日本ジオパーク委員会において取り組み状況等のプレゼンテーションが行われました。山陰海岸エリア内どの地域も特徴のある地質的見どころがあること、地質遺産を利用した研修会、クリーン作戦等のボランティア活動、教育的活動の場の提供等、地域をあげて様々な取り組みが推進されていることが報告されました。今後は、9月上旬の日本ジオパーク委員による現地調査等を踏まえて取り組み状況が総合的に審査され、早ければ9月下旬には、今回申請した3地域の中から最大2地域が世界ジオパークネットワーク申請地域として決定される予定です。

[浦富海岸ジオスポット] 千貫松島

虚空蔵山に相対する花崗岩の離れ岩。離れ岩とは、もともと一つにつながっていたものが、海食(波が打ち寄せてしだいに岩を侵食)によって分離され、別の島になったもの。島の中央にはポッカリとトンネルのような穴が貫通しており、このような地形を、海食洞門と呼んでいます。



今月の納税

町 県 民 税<第2期>

8月31日(月)

編集後記

ごみの達人の取材を通して、コンポスト容器ってすごいなあと思いました。

夏の生ごみは、水切りをしても重い。そんな時、コンポスト容器があれば、燃えるごみは、ほとんど紙類なので軽くなります。コンポスト容器は、食べ物や土を返し、その土は野菜を育てる堆肥になる。本当に地球にやさしい、町の財政にもやさしい、そしてごみ出しの人にもやさしい。やさしいことだらけ。

コンポスト容器をまだの方、この夏にコンポスト容器はどうですか。実は私も購入していないので、購入しようと思います。 なか

岩美文学の散歩道

～絶対自由を求め続けた尾崎翠～



明治29年岩井に生まれる。絶対自由—今よりここより、生きることはもっと楽しく自由なことがある—を生涯求め続けていた翠。21歳、作家を目指して上京。数々の作品を発表する中で、代表作と言える『第七官界彷徨』を35歳で発表するが、体調不良のため、翌年兄に岩美町に戻される。その後、74歳で亡くなるまで、岩美町を出ることはなかった。作家人生は十数年で終わりを告げたが、今でも斬新さを失わぬ作品が、近年再び高い評価を得ている。



翠が大岩尋常小学校の代用教員として通った道 赴任した1914年(当時18歳)、初めて雑誌に作品が掲載された

尾崎翠については、ANAグループ機内誌 翼の王国 7月号に掲載されました。

編集・発行／岩美町役場自立推進課
 〒687-0001 鳥取県岩美郡岩美町浦富675-1
 TEL(Office)733-1412 FAX(Office)733-1569

自立推進課電子メールアドレス
 インターネット(いわみネット) E-mail jiriku@iwami.gr.jp
 URL http://www.iwami.gr.jp/

ECO-PULP



エコパルプ
 水と空気の負担を小さくした100%無塩素漂白パルプです